

サンパル



一般社団法人 歯の寿命をのばす会

初めて歯が抜けた方へ

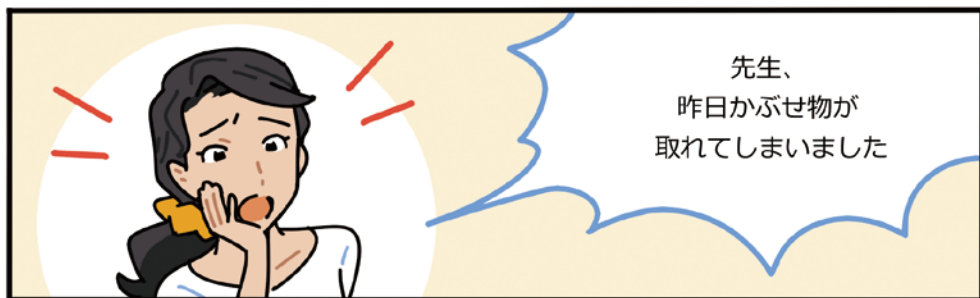
歯が抜けた部分の
治療の違いを知っていますか？



一般社団法人
歯の寿命をのばす会

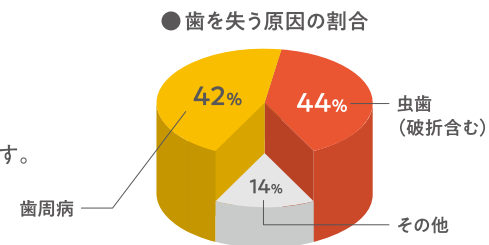


1 歯を失う時は突然くる？



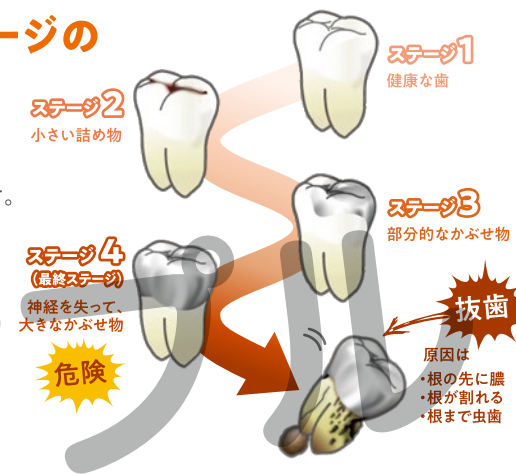
歯を失う原因とは？

歯を失う原因は大きく分けると二つあります。一つは虫歯(破折含む)です。もう一つが歯周病です。この二つの病気が原因で、ほとんどの歯が抜けてしまいます。



神経を取った最終ステージの歯が危ない！

虫歯になっても、治療をすれば痛みは治ります。ただ虫歯で失った部分は元には戻らないのです。当然、何回も虫歯になって治療を繰り返すと、どんどんご自身の歯が小さくなり、人工物が大きくなります。そして最後は抜歯になるのです。神経を取った最終ステージの歯は、抜歯の一手前なので注意が必要です。



最終ステージの歯に起こる3つトラブルとは？

神経を取った歯の最終ステージが危険なのは理由があります。



これらが神経を取った歯によく起こるトラブルです。そして抜歯になる原因です。最終ステージの歯は注意が必要です。

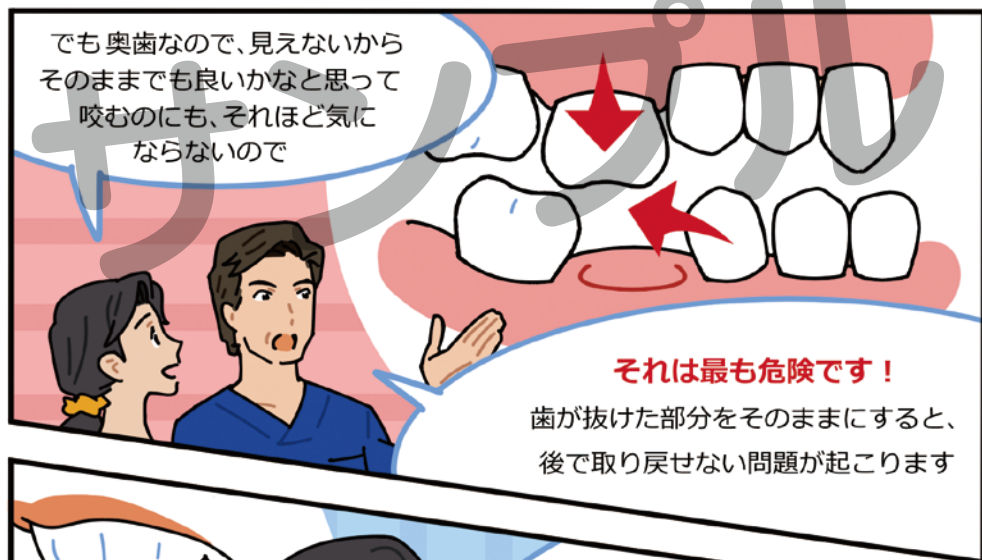
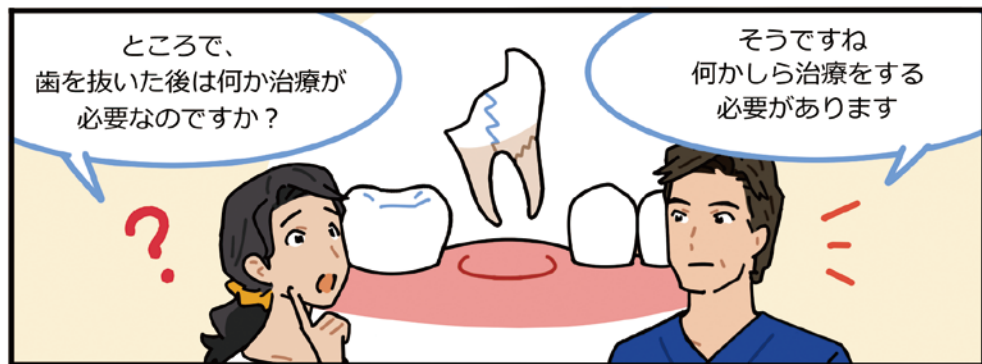
Point!

歯が抜ける時は突然きます。最終ステージの歯や歯周病の進行にご注意ください。





2 抜けたままではいる問題とは？



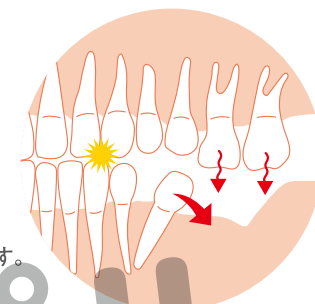
【他の歯に取り返しのつかない悪影響を起こす？】

歯が抜けた後に患者さんが感じる問題としては『歯が抜けて見た目が気になる。』『少し咬みづらくなった。』などが多いです。もちろん前歯なら見た目が気になりますが、奥歯だと、しばらくすると咬めないのにも慣れたりします。ただ、他の歯に悪影響を及ぼす危険な問題が潜んでいるのです。

悪影響①

周囲の歯が倒れてくる。 咬み合う歯が飛び出る。

歯は支え合ってバランスを保っています。歯が抜けると、当然そのバランスが崩れます。バランスが崩れてどうなるかと言うと、周囲の歯が倒れてくるのです。また咬み合っていた歯も、咬み合う部分を持って歯が飛び出てきます。これは1年、2年と時間が経過すると徐々に起こってきます。ただ、進行がゆっくりなので、ご自身で気付くことはほとんどなく、数年後にレントゲン画像を見て、初めて気付かれる方が多いです。問題は、倒れた歯は保険外の矯正治療をすることでしか元には戻せないことです。矯正治療でも戻せないケースも多々あり、その際は歯を大きく削ってかぶせ物で治療することになるので歯の寿命が極端に短くなります。



悪影響①

片方の歯で食べるようになり、 顔の変化や歯が折れやすくなる。

利き腕がある様に、人によってかみ癖もあります。歯が抜けた部分を放置すると、無意識に反対側で咬む癖が起こります。それによって何が起るのでしょうか？
ひとつは片方ばかりで咬むので負担が約2倍になります。神経を取っている歯は脆くなっているので、負担に耐えられずに折れてくる現象が起こります。もうひとつは顔の変化です。
片方ばかりで食事をする事で、顔の筋肉の変化や顎の関節の変化が起こります。そして長期的には顔の見た目が、左右で変わってきます。



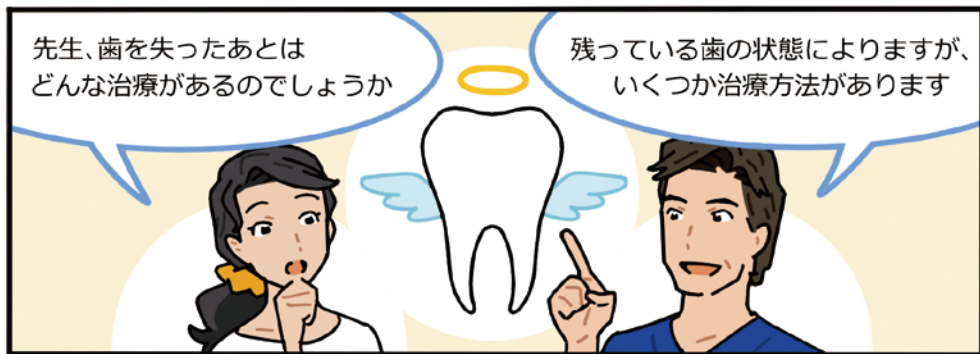
Point!

この様な問題が起こってから、抜けた部分の治療をしても元には戻りません。「見えないから良い」「咬めるから良い」と判断せずに、早めの治療が大切です。





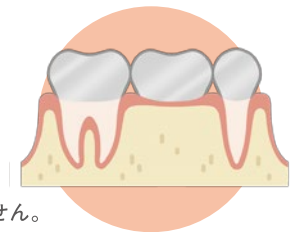
3 歯が抜けたときの3つの治療



3つの治療法とは

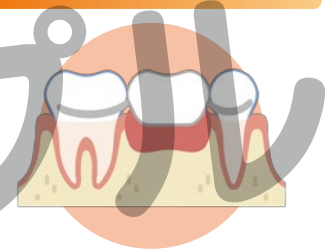
①ブリッジ

ブリッジは、失った部分の両隣の歯を削って3本以上の歯をかぶせ物でつなげる治療です。文字通り、橋渡しにしている形となります。抜けた部分の歯が多かったり、支えの歯の状態が悪いとブリッジ治療ができないケースがあります。セメントで固定するので、日々の生活で取り外す必要はありません。



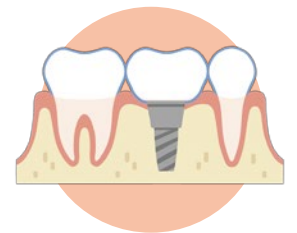
②入れ歯

入れ歯は、プラスチックで制作した歯や歯ぐきを装着する治療です。残っている歯に金属のバネを掛けて固定をします。取り外し式となっているため、毎食後に外して洗う必要があります。



③インプラント

失った歯の部分にチタンの金属を入れて、人工の歯の根をつくります。そして、その上にかぶせ物をする治療です。固定式のため、日常の生活で取り外す必要はありません。



Point!

抜けた歯の本数によってできる治療が異なってきます。また残っている歯の状態によっては、治療しても長くもたないケースもありますので、しっかり担当医にご相談ください。





4 ブリッジ治療

ブリッジは
取り外しをしなくていいのが
魅力的ですね

使い勝手は、入れ歯より
もちろん良いです

でも、ブリッジって
歯をかなり削るんですよね

そうなんです
健康な歯でも削って
かぶせ物をする必要があります

でもそれだと、
その歯の寿命が減りませんか？

おっしゃる通りです
残っている歯にはすごく負担がかかります
ブリッジについて詳しく説明します

ブリッジの良いところ

良い点 取り外す必要がなく、使い勝手が良い。

ブリッジの一番の良い所は、取り外す必要がないので
日常生活での使い勝手が良いことです。
また食事の時も、天然の歯とほとんど同じ様に咬むことができます。

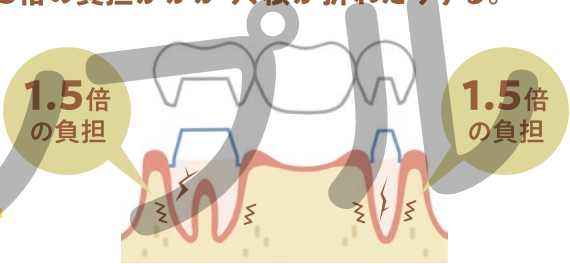


ブリッジの心配なところ

ブリッジの構造上、心配な点が2つあります。

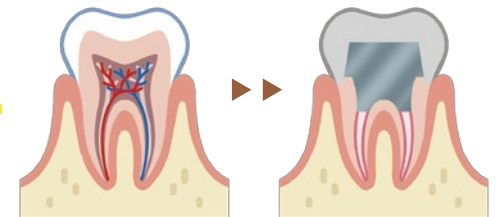
心配点① 支えている歯に1.5倍の負担がかかり、根が折れたりする。

ブリッジは失った部分を、
前後の歯で支えている構造です。
そのために、支えている歯には
1.5倍の負担がかかります。
特に神経を取っている歯は折れたりして
抜歯になりやすいです。



心配点② 健康な歯も大きく削るので歯の寿命が減る。

ブリッジするには
健康な歯でも削る必要があります。
虫歯ではないのに、大きな虫歯になった歯と
同じ状況になります。
当然、歯の寿命が減ってしまいます。



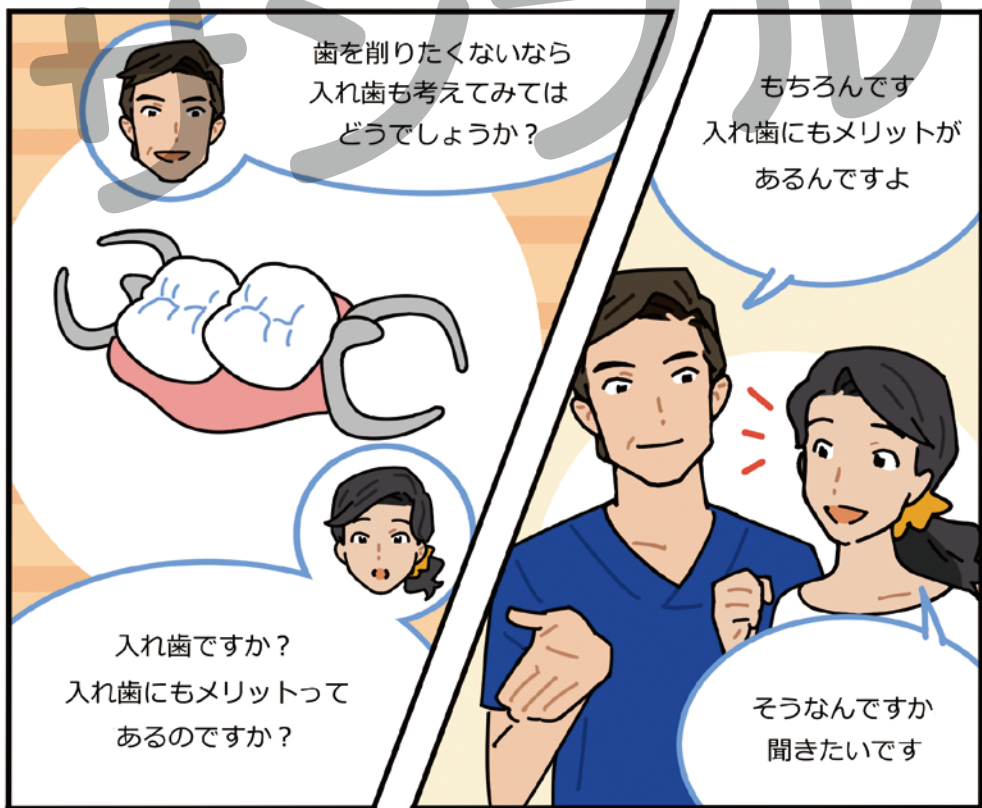
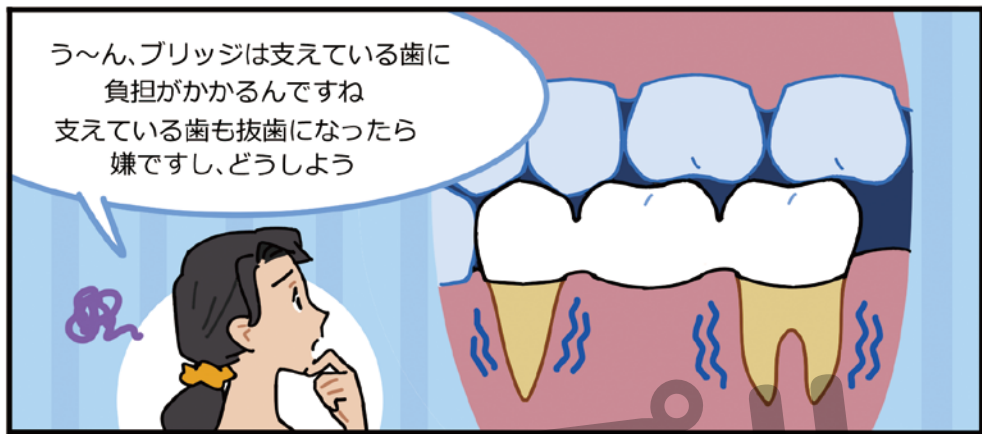
Point!

使い勝手は比較的良いのですが、
支えている歯の負担が非常に大きいのが
ブリッジ治療です。
支えの歯の状態によっては注意が必要です。





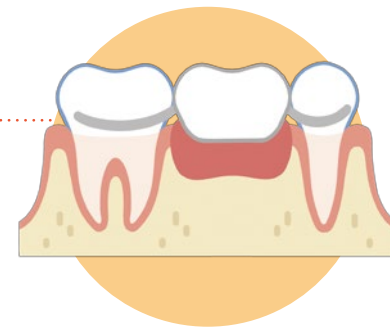
5 入れ歯治療



入れ歯の良いところ

良い点① 歯をほとんど削らないで治療ができる。

入れ歯のバネがかかる部分の歯を少しだけ削りますが、大きく削る必要はありません。



良い点② 歯ぐきでも力を支えてくれる。

ブリッジは、前後の歯だけで力を支えています。ただ、入れ歯は歯ぐきでも力を支えてくれるので、周囲のバネを掛けている歯の負担は多少軽減します。

入れ歯の心配なところ

心配点 見た目と使い勝手が悪い。

入れ歯で多くの人が心配されるのが、やはり見た目と使い勝手です。どうしても金属のバネが見えたりします。また取り外し式である以上、何かの拍子に外れることもあるのがデメリットだと思います。人との外食の時間が心配と言われる患者さんも多いです。



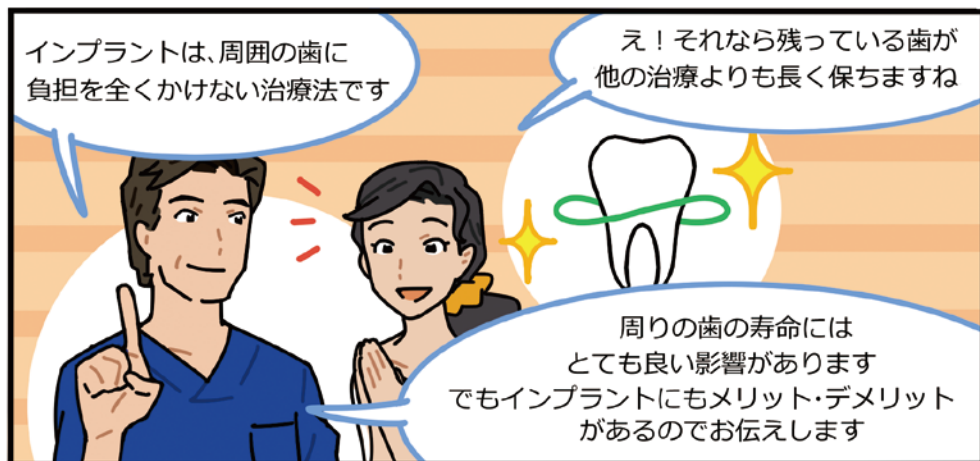
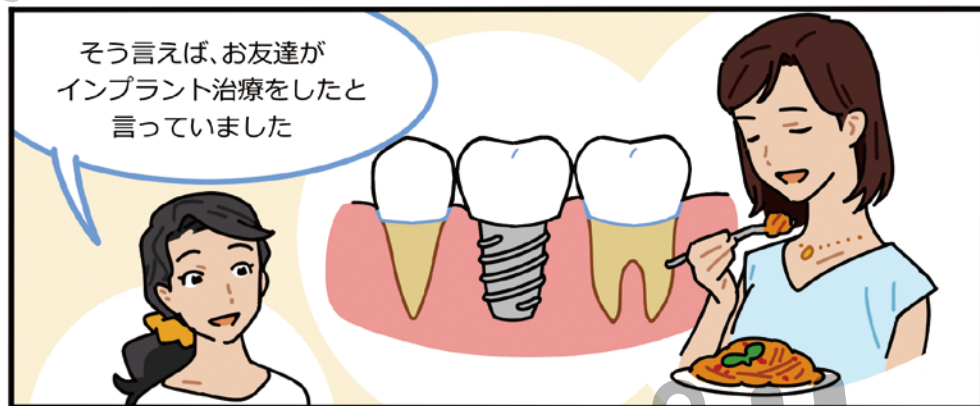
Point!

入れ歯は残っている歯をほとんど削りませんが、日常の使い勝手が一番の心配な点です。ただ入れ歯を作ったけど使わないでそのままにしておくと、お口全体の大きなトラブルになるのでご注意ください。(P3. 4「抜けたままでいる問題とは?」参照)





6 インプラント治療



インプラントの良いところ

良い点① 周りの歯に負担が無いので、歯の寿命を減らさない。

インプラントの最も大きなメリットは、他の歯に負担がかからないことです。他の治療は、失った部分にかかる力を周囲の歯が負担をしています。そのため、歯の寿命が非常に短くなってしまふことが問題なのですがインプラントはそれを解消できます。



良い点② 固定式なのでご自身の歯と同じ様に食事ができる。

インプラントは取り外しする必要が無く、ご自身の歯と同じ様な感じで食事ができます。お煎餅とかでも心配なく咬めます。

インプラントの心配なところ

心配点 保険外の実費での治療となり、多少の外科処置が伴う。

インプラントの心配な点は、費用と外科処置です。保険が適用とならないために、保険外の実費での治療となります。また、抜けた部分に人工の歯の根を入れる治療をするために、多少なりとも外科処置が伴います。



Point!

保険適用外での外科治療となりますので、担当の歯科医師としっかりご相談ください。ただ、インプラントは唯一、残っている歯に負担をかけない治療です。そのため、周囲の歯を長く残したい方にはお勧めです。





7 どの治療法が良いのか？

治療法によっては、歯を削ったりするので後戻りできないことがあります。また周囲の歯の状態によってもベストな治療が異なります。



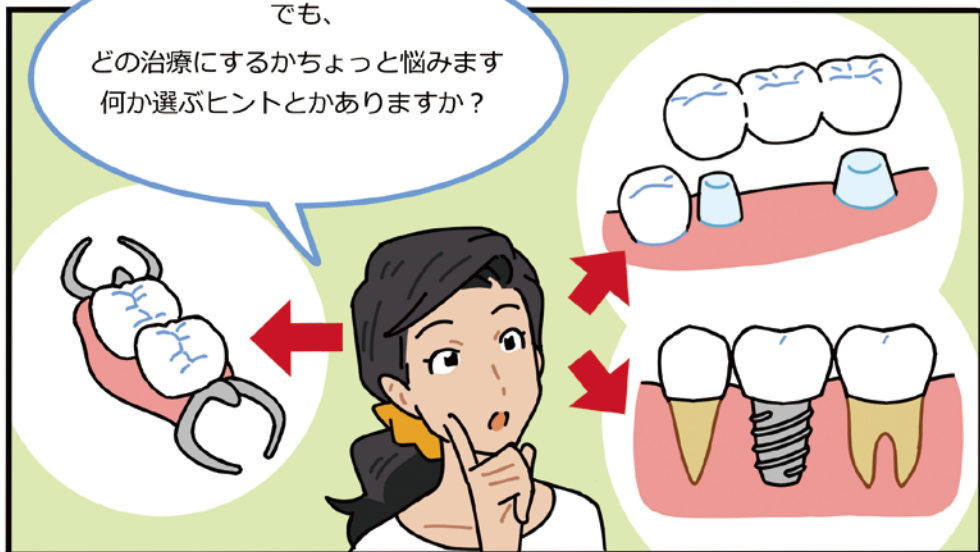
う〜ん、治療法でこんなに違いがあるのを知りませんでした

そうですねでも今回、学んでいただいて良かったです

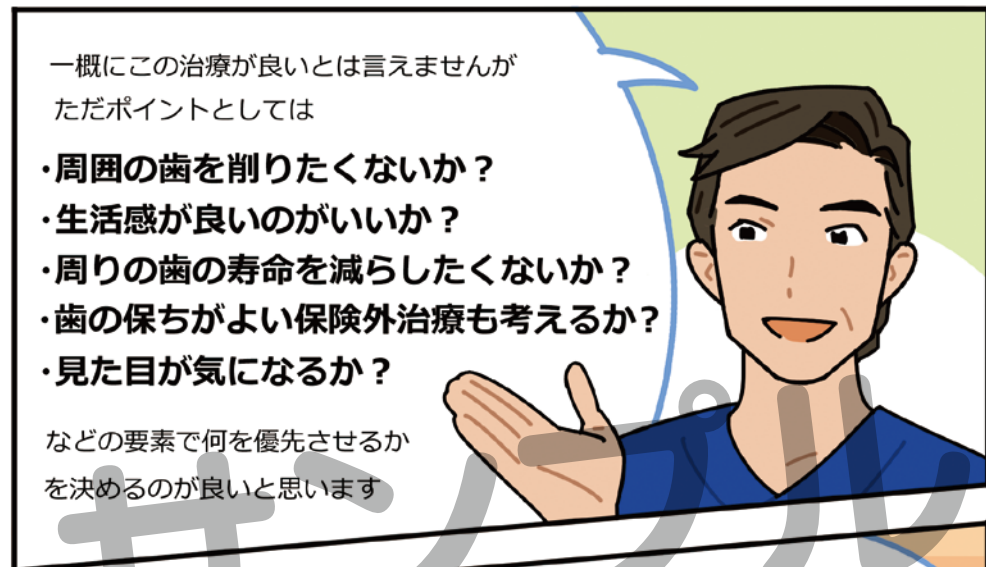


本当にいろいろ知ることができて良かったですありがとうございます

患者さんによって望みは違うので、まずはそれぞれの治療法を知ってもらうのが一番大切なんです



でも、どの治療にするかちょっと悩みます何か選ぶヒントとかありますか？



一概にこの治療が良いとは言えませんがただポイントとしては

- ・周囲の歯を削りたくないか？
- ・生活感が良いのがいいか？
- ・周りの歯の寿命を減らしたくないか？
- ・歯の保ちがよい保険外治療も考えるか？
- ・見た目が気になるか？

などの要素で何を優先させるかを決めるのが良いと思います



確かにそうですね全てを兼ね備えた治療はないですよ

まずは、担当の先生に残っている歯のことも聞いて相談することですね

あとは、残っている歯の状態によって治療法によっては負担が大きくて早く抜歯になるケースもあります

そうですねぜひ、相談してベストな治療を選んでください！